

# 新宿社協ガイド

令和 5 (2023) 年度  
70 周年記念版



SHINJUKU  
social welfare conference

社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会



# 新宿区社会福祉協議会はおかげさまで 令和5年で創立70周年となります。

現在の取り組みとのつながりを中心に、主な事業の変遷をご紹介します。

## ごあいさつ

新宿区社会福祉協議会は、戦後の生活再建が進む昭和28年6月25日、任意の福祉団体として誕生し、令和5年で創立70周年を迎えました。昭和37年6月22日には都内で最初の社会福祉法人格を取得し、組織を強化しつつ、一貫して地域福祉の推進に努めてまいりました。この間、ご支援いただきました皆様方のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

今後も本協議会の基本理念である「『だれもが安心して暮らせる新宿型福祉コミュニティ』の実現」に向けて、地域の皆様のご理解とご支援が必要です。役職員一同、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会  
会長 大須賀 頼彦



## ボランティアコーナー開設

社協事務所にボランティアを中心とした相談窓口ができました。以降、順次、特別出張所の一角に開設し、車椅子の貸出をはじめ、地域活動や困りごとの相談など、身近な地域で対応の幅を広げていきました。現在は「あなたの近くのつながるスポット」として、区内6か所に開設しています。



いきいきサロンこぶし 活動の様子

## 災害時の社協職員派遣 開始

この震災を境に、災害ボランティアが広がり、平成19年中越沖地震、平成23年東日本大震災などの大きな災害時には、全国の社会福祉協議会が協力して災害ボランティアセンターの運営を支援するしくみが定着しました。

新宿社協からも阪神・淡路大震災などの災害時には職員を派遣しています。(本誌P.14参照)



## いきいきサロンこぶし参加者の皆さんより

日々皆さんと顔を合わせているので、世間話や困りごとの相談などが気軽にできるとても貴重な場所です。活動は20年以上になりますが、会いたい人がいたり、無理せず参加できることが、元気で長く続けられる秘訣です。



※撮影時のみマスクを外しています。

## ふれあい・いきいきサロンの運営支援 開始

誰もが参加でき、気軽に行ける身近な居場所の活動を支援しています。子どもから高齢者まで、幅広い交流による、新たな地域のつながりが生まれています。

令和5年1月末現在  
支援サロン数 79カ所  
(本誌P.13参照)

1953	1975	1977	1980	1983	1993	1995	1997	2000
昭和28年6月25日	昭和50年	昭和52年	昭和55年	昭和58年	平成5年	平成7年	平成9年	平成12年
新宿区社会福祉協議会 任意団体創立	機関紙 「けやき」創刊	ボランティア コーナー開設	使用済切手収集・ 整理ボランティア開始	車椅子貸出事業開始 (本誌P.14参照)	地域福祉活動計画 策定委員会設置	●阪神・淡路大震災で初めて職員派遣 ●地域団体・学校・企業への体験セミナー開始 (本誌P.13参照)	ふれあい・いきいき サロン推進事業運営 支援開始	新宿区ファミリー・サポート・ センター開設 地域見守り協力員事業開始

- 昭和38年 老人福祉法公布
- 昭和39年 母子福祉法公布
- 昭和45年 心身障害者対策基本法公布

## けやき創刊

令和5年2月で  
183号まで発行  
されています。



記念すべき第1号

- 昭和58年 市区町村社会福祉協議会  
法制化
- 平成元年 ゴールドプラン策定
- 平成2年 福祉関係8法改正

## 使用済切手収集・整理ボランティア開始



収集された使用済切手は、ボランティアが整理した後、海外の保健医療などの活動資金に役立てられます。整理活動は、区内8か所で行われています。

## 活動者 後藤 信子さん

社会の役に立つだけでなく、ボランティアの楽しさを多くの仲間と一緒に分かち合えることが私のやりがいです。同じ志を持つ多くの方々との出会いに恵まれ、約20年間続けています。これからも、ボランティアを通して人と人とのつながりの輪を広げ、活動を続けていきます。



## 地域福祉活動計画 策定委員会設置

区民の皆さんとともに、住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らし続けていくことができるまちづくりを目指す計画をつくるため、45名の区民による委員会を立ち上げました。実態調査、住民説明会や懇談会を重ね、計画を策定しました。現在の住民とともに地域の課題を検討する「社協部会」、経営計画を検討する「推進部会」の取り組みにつながっています。

住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現に向けて、子どもから高齢者まで、地域で支えるしくみづくりに取り組んでいます。

(本誌P.13-14参照)

## 新宿区ファミリー・サポート・センター 開設 地域見守り協力員事業 開始



地域見守り協力員事業 活動の様子

ファミリーサポート 活動の様子

社協の詳細年表などは [こちら](#)



## 暮らしのサポート事業 開始



日常生活のちょっとした困りごとを、地域のボランティアが手伝い「お互いさまの支えあい」の輪を地域へ広げていく活動です。

暮らしのサポート事業は平成 21 年に住民参加の新たな事業として開始しました。平成 28 年にちょっと困りごと援助サービス事業（平成 19 年～）と統合し、現在の「ちょっと・暮らしのサポート事業」となりました。

（本誌 P.13 参照）

## 新宿区内社会福祉法人連絡会 発足

社会福祉法人による地域への公益的な取り組みの推進を目的に発足しました。新宿区内 44 法人・事業所が参加し、令和 4 年からは子育て世帯向けに食品配付会を実施するなど、連絡会全体での地域貢献活動を実践しています。

（本誌 P.13 参照）



食品配付会の様子

### 新宿区内社会福祉法人連絡会 代表幹事 今井 康之 さん

社会福祉法人が培ってきた専門性と、地域を支える町会・自治会、民生委員・児童委員などの情報力、新宿社協のコーディネート力を連携させ、新宿力の向上と多様化する新宿特有の地域課題解決に向け三位一体で取り組みます。



## 令和 2 年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大状況下での新宿社協の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面または集合による支援や活動ができない日々が続き、孤立感や孤独感が生まれました。感染予防に最大限の注意を払い、さまざまな工夫をしながら、つながりの再構築に取り組みました。

### 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金の特例貸付事業の実施 （令和 2 年 3 月 25 日～令和 4 年 9 月 30 日）

特例貸付申請件数延べ 38,558 件（東京都 決定件数 658,277 件）

#### つながりを継続するために工夫した取り組み

- ・地域見守り協力員事業の協力員による訪問を休止し、職員の電話による安否確認を実施（令和 2 年度当初）
- ・自宅でできるボランティアとして「おたよりボランティア」を実施
- ・ちょっと・暮らしのサポート事業によるオンラインサポート支援
- ・施設とボランティアのオンライン交流
- ・理事会やボランティア講座などのオンライン開催

#### その他の取り組み

- ・「ふれあい・いきいきサロン 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成」の実施
- ・成年後見センター事業は感染対策をしながら事業継続

2007

平成 19 年

新宿区成年後見センター開設

2009

平成 21 年

暮らしのサポート事業開始

2011

平成 23 年

地域コーディネーター養成講座開始

2012

平成 24 年

新宿区視覚・聴覚障害者交流コーナー開設

2017

平成 29 年

新宿区内社会福祉法人連絡会発足

2020

令和 2 年

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

平成 24 年 認知症施策推進 5 年計画（オレンジプラン）策定

平成 27 年 生活困窮者自立支援法施行

### 新宿区成年後見センター 開設

平成 19 年に開設され、成年後見制度に関する相談や、各種講座等による広報周知、市民や親族による後見人の支援を行っています。平成 30 年より社協が後見人となる法人後見事業も開始しています。

（本誌 P.12 参照）

### 成年後見センター 活動者より

市民後見人の研修を受講し、16 年間、市民後見人や地域福祉権利擁護事業の生活支援員として活動しています。認知症などの判断能力が不十分な方が平穏な生活を送れるよう、向き合い、受け止めて、かつ自身の気持ちに余裕を持ちながら活動しています。

### 地域コーディネーター養成講座開始

現在は、「地域活動者実践講座」として継続開講しています。地域課題解決へ向けて行動する人材の発掘と養成に力を入れています。仲間と一緒に実践的に学び、巣立って行った多くの方々が地域で活躍されています。

（本誌 P.13 参照）



平成 31 年地域活動者実践講座の様子

### 新宿区視覚・聴覚障害者交流コーナー開設

令和 4 年 5 月で 10 周年を迎えました。視覚・聴覚障害者の支援や交流活動の場として開設し、支援者や視覚・聴覚障害を学びたい方も利用できます。YouTube での手話講座や交流コーナーの紹介動画をホームページで配信中です。

（本誌 P.12 参照）



手話サロン 活動の様子



#### 施設とボランティアのオンライン交流

ボランティアはそれぞれの場所から特技を披露し、施設は部屋を分け、手遊びをして交流しました。



#### おたよりボランティア

幼児から 106 歳まで幅広い年齢層の方が参加しました。



2023

皆さんに支えられ、助けられ、育てられ、

70 年歩んでまいりました。

これからも新宿社協は、地域の皆さんとともに、だれもが安心して暮らせる新宿のまちを目指して活動してまいります。

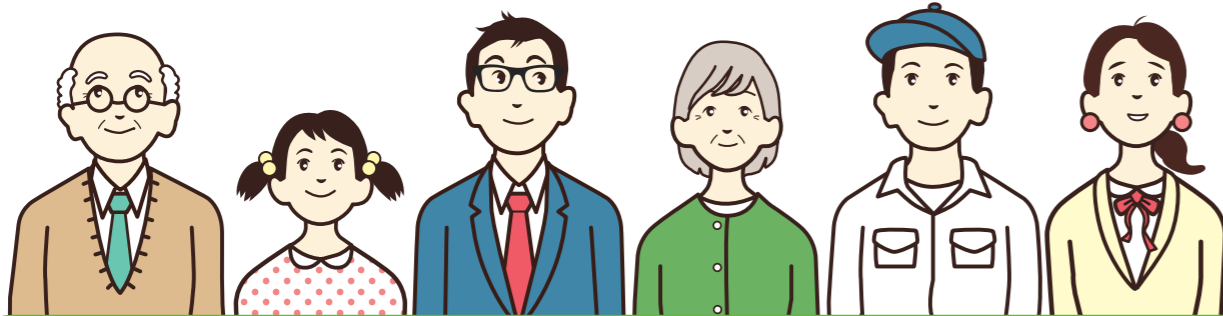
社協の詳細年表などは [こちら](#)



だれもが安心して暮らせる

# 「新宿型福祉コミュニティ」

の実現を目指して



## 新宿社協 4つの経営方針

### 経営方針 1

住民などが支えあい活動を主体的にすすめられるような、土壌づくりと成長の支援を継続的にを行います。

### 経営方針 2

だれもが自分らしく暮らし続けられるよう、それぞれのニーズを丁寧に汲み取りながら、支援のネットワークをつくっていきます。

### 経営方針 3

社会福祉法人、NPO、企業など、多様な主体と連携した支えあいの取り組みを発展させていきます。

### 経営方針 4

新宿社協を理解し応援してくれる会員の輪を広げ、組織基盤の強化を図ります。

新宿社協では、第4次経営計画（2019年度～2023年度）に基づき、基本理念「だれもが安心して暮らせる新宿型福祉コミュニティ」の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています。

新宿社協は、地域の皆さんと一緒に  
だれもが安心して暮らせる新宿のまちを目指します



## あなたとともに支えあいの地域をつくりまします

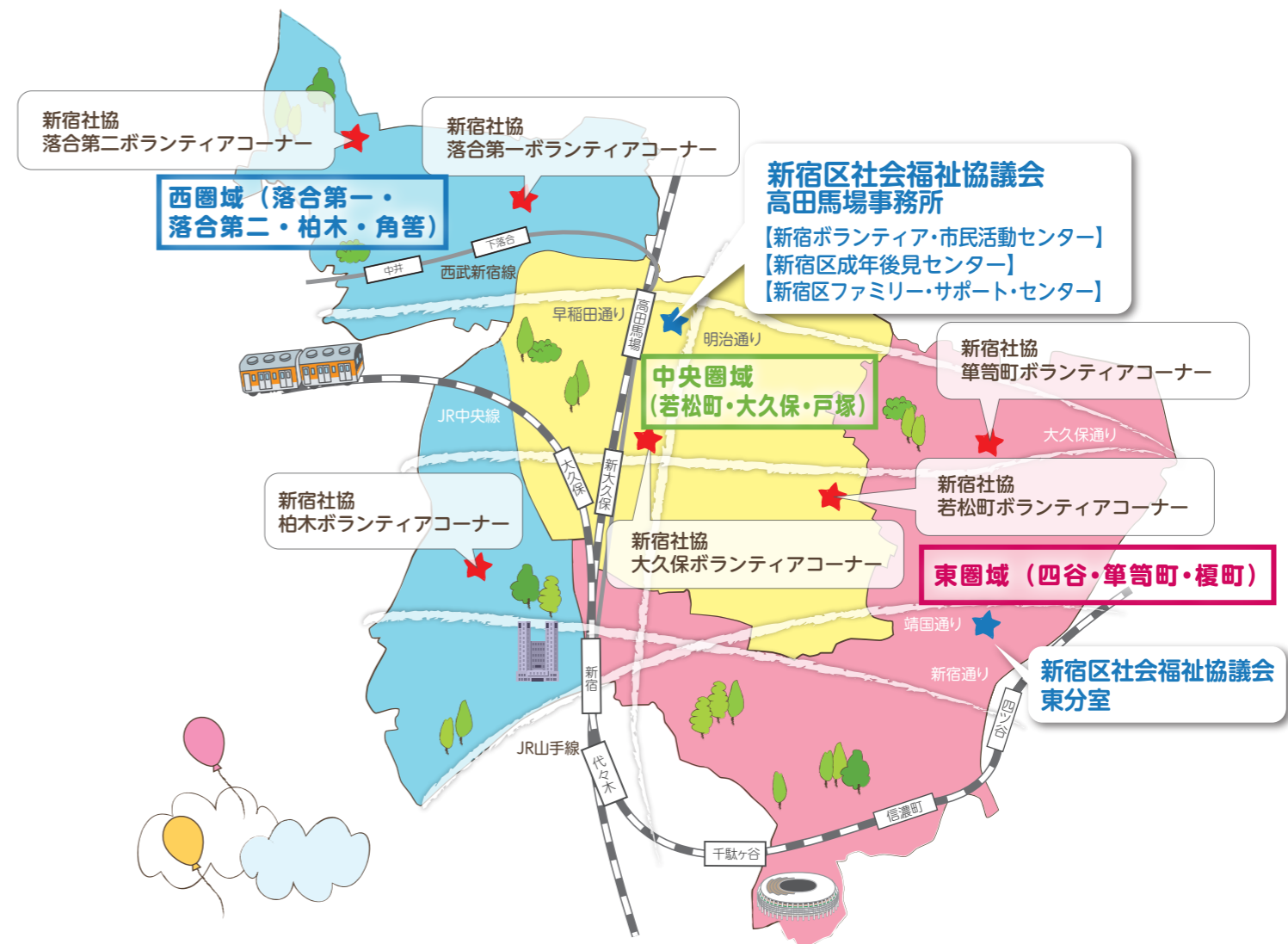
社会福祉協議会とは	7
新宿社協の組織	7
社協会員を募集しています	7
共同募金の普及・啓発	8
寄附のお願い	8

## 新宿社協の重点的な取り組み

多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援	9
さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展	10
新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化	10
地域福祉推進のための財源基盤の拡充	10

## 事業概要一覧

1 ご利用ください！地域の身近な相談窓口です	
①暮らしの総合相談事業	11
②自立相談支援・貸付事業	11
③成年後見センター事業	12
2 地域活動をサポートします	
①ボランティアへの参加を応援します	12
②さまざまな地域活動を支援します	13
③住民同士の支えあいにより日常生活をサポートします	13
④車椅子・地域行事用機材を無料で貸し出します	14
3 災害への備え	
災害ボランティアセンターの運営支援等	14



# あなたとともに支えあいの地域をつくります

## 社会福祉協議会とは

社会福祉法に基づき、各自治体に設置されている民間の非営利団体です。地域福祉の推進を目的に、住民や地域団体の方々を会員として成り立っています。

新宿社協は、昭和28年6月に任意団体として発足後、組織化、法制化の流れの中で、民生委員・児童委員協議会、町会・自治会、保護司会が中心となってつくられました。

70年もの間、会員をはじめとした皆さんからの支援により、住民が主体となって活動する地域福祉の推進をすすめています。

## 新宿社協の組織



## 社協会員を募集しています

新宿社協が行う地域福祉の推進を、会費で支える**会費会員**と、ボランティアなどの活動で支える**活動会員**を中核として、身近な生活課題の改善・解決への取り組みを支援しています。

### 会費会員（会費で支える）

<年会費>（一口1,000円）

個人会費 一口以上  
団体会費 三口以上

### <手続き方法>

窓口、銀行振込、クレジットカードで  
お手続きできます。（P.8をご確認ください。）

社協の活動に賛同し、社協の一員として  
新宿の地域福祉への取り組みを支援する



### 活動会員（活動で支える）

地域での見守り活動や福祉施設でのボランティア、  
個人宅でのお手伝い、ファミリーサポート事業など。  
詳しくはP.12-14をご覧ください。



### 民生委員・児童委員との連携

新宿社協設立当初から、連携・協働して新宿区  
の地域福祉をすすめています。  
生活に課題のある方への支援をともに行っ  
ているほか、会費の半数は民生委員の皆さん  
のご協力により集められています。

「お互いさま」の関係が循環する地域づくりの  
ために、皆さんのご協力をお願いいたします。

## 共同募金の普及・啓発

各共同募金運動を通じて、新宿区の地域福祉を推進しています。



「赤い羽根共同募金」の約65%は、区内の地域活動団体による支えあいの活動の取組みとして、約35%は東京都の福祉活動、災害等準備金として活用されています。

「歳末・地域たすけあい運動募金」は、全額、区内の在宅重度障害児者、乳児院入所児者などへのお見舞品、区内の地域福祉活動事業に活用されています。

### 地域ささえあい活動助成金

地域のニーズに基づいた活動や、障害の当事者団体などの福祉活動に対し、審査のうえ助成します。（P.13参照）



### 町会・自治会との連携

各部会や評議員会など、組織運営やさまざまな事業にご協力いただいています。  
なお、共同募金の8割以上は、町会・自治会のご協力により集められています。

## 寄附のお願い

地域の皆さんによる社会貢献や地域に役立てたいなどのご厚志を、広く寄附金品として募っています。

寄附金は、車椅子の貸出やボランティアの育成、災害への備え、地域で活動するさまざまな団体への支援などに幅広く使われます。

新品のおむつ、タオル、食品などの寄附物品は、必要としている区内の福祉団体・施設、子ども食堂などでの活用につなげます。



ボランティアが作成した  
タオルエプロン

## 会員会費・共同募金・寄附金の手続き方法

① **まずはご連絡ください** 下記問合せ先へご連絡ください。詳しい手続き方法をご説明いたします。

② **納入方法**

**窓口でのお支払い** 新宿社協の各窓口（本誌裏面参照）でお手続きできます。

**銀行振込でのお支払い**

**郵便局** 00110-5-57124 社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会

**銀行** ●みずほ銀行 新宿支店 普通 0514054  
社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会

●ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 0057124  
社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会

**クレジットカードでのお支払い** 新宿社協ホームページまたは右記QRコードからお手続きできます。



※新宿社協への会員会費、共同募金、寄附金は、税制上の優遇措置が受けられます。  
詳しくはお近くの税務署または自治体（東京都、新宿区）へお問合せください。

### 問合せ

法人経営課 TEL 5273-2941 FAX 5273-3082 E-mail houjin@shinjuku-shakyo.jp

# 新宿社協の重点的な取り組み

## 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

- ① 地域に顕在化している、または潜在的にあるさまざまなニーズを把握するとともに、支援ネットワークづくりをすすめ、生活課題を抱える人への個別支援を行います。
- ② 地域づくり支援の経験や専門性を活かし、包括的な支援への取り組みをさらに広げます。

- 「一人暮らしで認知症のAさんが心配…」
- 「高齢のBさんは働いていないお子さんと同居してるけど、最近姿を見ないわ…」
- 「収入が安定してなくて不安…」
- 「困りごとはたくさんあるけれど、相談する一歩が踏み出せない」



### さまざまな生活課題や困りごとのご相談をお受けします

#### 自立相談支援・貸付事業

経済的に困難な状況にある方、さまざまなお困りごとを抱えている方の相談に対応します

#### 地域の支えあいによる支援

ボランティアを必要とする方、支えあい活動に参加したい方の相談や、支援ネットワークづくりをすすめます

### 社協内の連携を強化し、ひとりひとりへの支援と、支えあいの地域づくりを包括的に行います

#### 成年後見センター事業

判断能力が不十分な方の相談、成年後見制度、地域福祉権利擁護事業利用などの支援を行います

詳しい問合せ先については P.11 ~をご覧ください

## さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

- ① さまざまな団体と連携して、新宿の特性を捉えた公益的な取り組みを目指します。
- ② 民生委員・児童委員協議会や町会・自治会をはじめとした地域団体とのさらなる連携により、地域の生活課題への改善・解決を目指します。



企業による区内福祉施設へのボランティア活動



社会福祉法人による企画に、企業からのボランティア、行政からの場の提供、地域の学校や住民など、多くの協力により完成したウォールパズルアート（全長約10メートル）

## 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

新宿社協の活動を支えている地域の活動者を、今後も増やしていくために、新宿社協の認知度や活動への共感をさらに高めていきます。そのためには、各広報媒体が持つ特性を活かし、連動させ、一体的な広報活動を行います。

また、新宿社協独自の**出前講座**を行い、さらなる理解促進を図ります。

見やすい 伝わる



出前講座名 (例)	内 容
ボランティア・地域活動について	誰もが気軽に参加できるボランティア活動や、地域で安心して生活できるよう支えあうしくみについて紹介します。
災害時のボランティア活動	新宿区災害ボランティアセンターについて紹介します。
成年後見制度について	判断能力が十分でない方の権利を守る制度である成年後見制度について紹介します。
新しい生活様式での居場所づくり ～スマホやパソコンでオンライン会議～	「オンライン会議の基本」について、ボランティアの協力を得てご紹介します。


上記含め、全14種の出前講座を行っています。詳しくはお問合せください。

## 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

地域のニーズに応じた、新宿社協ならではの支援を継続していくために、「**会費会員の拡充**」、「**共同募金の普及啓発**」、「**寄附のお願い**」、「**収益事業**」など、財源基盤の拡充にも取り組みます。


# 事業概要一覽

新宿社協の多くの事業が、皆さんからご協力いただく「会費」「共同募金」「寄附」による善意により支えられています。

この事業一覽では、皆さんに支えられている事業それぞれに  マークをつけ、活用内容を分かりやすく示しています。

## 1 ご利用ください！地域の身近な相談窓口です




### ① 暮らしの総合相談事業

事業名	実施日時と場所	相談内容	問合せ
暮らしの総合相談 	【高田馬場事務所】 月～土 午前8時30分～午後5時	地域の身近な相談窓口として、生活の中のさまざまな問題や悩みごとなどの相談に応じています。	地域活動支援課 高田馬場事務所 TEL 5273-9191
	【東分室】 月～金 午前8時30分～午後5時		東分室 TEL 3359-0051
	【新宿社協ボランティアコーナー】 (笹塚町・若松町・大久保・落合第一・落合第二・柏木) 月～金 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)		◎各ボランティアコーナーの問合せ先は本誌裏面をご覧ください。

### ② 自立相談支援・貸付事業






事業名	対象	内容	問合せ
自立相談支援事業  【区委託事業】	経済的に困窮し、心身や家庭状況など、複合的な課題を抱える方、その家族など	本人の希望を尊重して一緒に課題を整理しながら、自立に向けた相談支援を行います。内容に応じて、関係機関と連携し、必要な支援が受けられるよう調整を行います。	地域活動支援課 自立相談支援担当 TEL 5273-3546 FAX 5273-3082
生活福祉資金貸付事業  【東社協委託事業】	所得の少ない世帯、障害者や介護を要する高齢者のいる世帯	生活の安定と経済的自立を図ることを目的に必要な相談援助と資金の貸付を行います。学校の入学費や授業料、その他一時的な資金が必要な場合が対象です。	地域活動支援課 貸付担当 TEL 5273-3541 FAX 5273-3082
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	①ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金を受けている方 ②児童扶養手当及び母子・父子自立支援プログラムを受けている方	①就職に有利な資格取得を目指し養成機関に在学する方への訓練促進資金(入学準備金・就職準備金)貸付 ②住宅支援資金(家賃)貸付 ※一定の要件により返済が免除されます。	
応急小口資金貸付事業	区内に3か月以上居住し、他からの借入は困難だが貸付によりその後の生活が見通せる世帯	貸付限度額は10万円です。生活必需品に係る費用や一時的な資金が必要な場合などが対象です。	
受験生チャレンジ支援貸付事業  【区委託事業】	一定所得以下の世帯の中学3年生、高校3年生などの保護者	塾などの受講料や受験料が対象です。入学した場合は、手続きにより返済が免除されます。	地域活動支援課 受験生チャレンジ支援担当 TEL 5292-3250 FAX 5273-3082

### ③ 成年後見センター事業

事業名	対象	内容	問合せ
成年後見制度利用推進事業  【区委託事業】	認知症、障害などにより判断能力が十分でない方、その家族、親族後見人等、関係機関職員など	①成年後見制度の相談 ◆職員による相談 ◆専門家による相談(要予約) 月：司法書士、水：弁護士、金：社会福祉士 (時間：午後1時～2時、午後2時30分～3時30分) ◆親族後見人等の支援 ②成年後見制度に関する講座 ◆成年後見制度の入門講座、任意後見講座 ◆市民後見人養成基礎講習	新宿区成年後見センター TEL 5273-4522 FAX 5273-3082
法人後見事業  【区補助事業】	①すでに判断能力が不十分な方 【法定後見事業】 ②将来の不安に備えたい方 【任意後見事業】	新宿社協が法人として成年後見人等または任意後見人となる事業 ・本人の生活・医療・介護・福祉に関する契約などのお手伝い ・年金などの収入と生活費や公共料金などの支出の管理	新宿区成年後見センター 法人後見事業担当 TEL 5273-4522 FAX 5273-3082
地域福祉権利擁護事業  【東社協委託事業】	認知症、障害などにより判断能力が十分でない方(本人の事業利用希望があり、契約できる方)	下記①の援助を中心に、必要に応じて②③のお手伝い ①福祉サービスの利用援助(利用手続きなど) ②日常的な金銭管理(公共料金支払手続きなど) ③書類などの預かり(通帳など大切な書類を保管)	新宿区成年後見センター 地域福祉権利擁護事業担当 TEL 5273-4523 FAX 5273-3082

## 2 地域活動をサポートします

### ① ボランティアへの参加を応援します

事業名	内容	問合せ
新宿ボランティア・市民活動センター 	ボランティアの情報提供や活動の紹介・調整・援助を行っています。各種講座や交流会なども実施し、ボランティアの育成や、福祉団体・施設やNPO、市民活動団体などの活動を支援しています。	地域活動支援課 TEL 5273-9191 FAX 5273-3082
いつでも体験ボランティア 	だれもがボランティアを身近に感じ、気軽に参加できるように、年間を通じてボランティア体験メニューを用意しています。子どもや学生、親子で参加しやすい活動もあります。活動メニューは新宿社協ホームページをご覧ください。	
介護支援等ボランティア・ポイント事業  【区委託事業】	ボランティア活動の内容に応じてポイントが付与されます。1年間貯めたポイントを1ポイント100円で、翌年に換金または寄附できます。(年間50ポイントが上限) 【対象】18歳以上の区内活動者 【活動内容】①区内の介護保険施設などでのボランティア活動、②地域見守り協力員活動、③ちょこっと・暮らしのサポート事業の内、30分程度の無償活動 など	
新宿区視覚・聴覚障害者交流コーナー  (視覚・聴覚障害者支援事業)  【区委託事業】	視覚や聴覚に障害のある方や支援者、障害について学びたい方などの交流や活動の場所として活用できます。代読・代筆、書籍・DVD貸し出しのほか、点字プリンターやヒアリンググループなどさまざまな支援機器も利用できます。利用者を中心とした自主的な交流活動も行っています。 月～土 午前10時～午後9時(職員は午後5時まで常駐)	新宿区視覚・聴覚障害者交流コーナー TEL・FAX (視覚) 6233-9555 (聴覚) 6457-6100

② さまざまな地域活動を支援します				
事業名	内容	問合せ		
生活支援 体制整備事業 【区委託事業】	介護保険法に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、関係機関と連携し、高齢者を地域全体で支えるためのしくみづくりに取り組みます。生活支援の担い手の養成、住民主体の訪問型・通所型サービスなどの創出に向けた支援、高齢者などが担い手として活動する場づくりの推進などを行います。			
地域活動者 実践講座	地域の居場所活動の立ち上げ、個人や団体による支えあい活動など、具体的な活動を担う人のための実践講座です。講座修了後も、修了者の取り組みを支援します。	地域活動支援課 高田馬場事務所 TEL 5273-9191 FAX 5273-3082		
ふれあい・ いきいきサロンの 運営支援	地域住民が運営する地域の居場所づくりの活動を立ち上げから運営まで応援しています。住民同士につながりや支えあいの輪が広がり、住み慣れた地域で安心して楽しく暮らしていくことを目指しています。令和5年度も、感染症対応の経費への助成を行っています。	東分室 TEL 3359-0051 FAX 3359-0012		
福祉教育・ 福祉体験学習 の推進	区内の学校や、企業、地域団体が行う福祉教育・体験学習への企画協力や講師紹介を行っています。地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援しています。区が行う障害者理解教育の推進にも協力しています。			
NPO・新宿 CSR ネットワーク等と の市民活動の支援	NPOなどの市民活動団体や新宿CSRネットワーク（区内を中心にボランティア・社会貢献活動に取り組む企業が加盟）と地域とのつながりづくりを支援します。地域福祉の向上を目的とした活動をすすめ、社会貢献活動のきっかけとなる情報提供や交流の場をつくります。			
新宿区内 社会福祉法人連絡会	社会福祉法人による地域への公益的な取り組みのため、新宿区内に事業所または施設がある社会福祉法人で組織する連絡会です。情報交換や連携等とおして地域公益活動に取り組むことで、住みやすく安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与することを目的に活動しています。	法人経営課 TEL 5273-2941 FAX 5273-3082		
地域ささえあい活動 助成金	地域のニーズに基づいた団体の取り組みに対し、経費の一部を助成します。 (例)・区内における地域福祉の視点が盛り込まれた事業（居場所づくり、多世代交流など） ・障害者などの当事者団体による福祉活動 区内で集められた「赤い羽根共同募金」と「歳末・地域たすけあい運動募金」を活用しています。			
③ 住民同士の支えあいにより日常生活をサポートします				
事業名	対象	内容	費用	問合せ
ちよこつと・ 暮らしの サポート事業	日常生活で援助を必要とする区民	地域の支えあいに対応できることを支援します。 (例) 電球交換、季節家電の入れ替え、掃除など。	無償または有償 (内容による) 有償・基準額 1時間800円	地域活動支援課 高田馬場事務所 TEL 5273-9191 FAX 5273-3082
地域見守り 協力員事業 【区委託事業】	区民で75歳以上の一人暮らし、75歳以上のみの世帯の方、日中独居の方、希望する方	地域見守り協力員（ボランティア）が月2回程度訪問し、情報紙「ぬくもりだより」を配布しながら玄関先でのあいさつを通じて高齢者の生活を見守ります。	無償	東分室 TEL 3359-0051 FAX 3359-0012

事業名	対象	内容	費用	問合せ
ファミリー サポート事業 【区委託事業】	【利用会員】 区内在住・在勤・在学中で、子育ての援助を必要とする保護者 (対象年齢) ①通常預かり 生後43日以上18歳までの児童 ②病児・病後児預かり 1歳から小学校6年生までの児童 ※②のみの登録はできません。  【提供会員】 区内在住・在学の18歳以上の心身に健康な方	子育ての援助を必要とする方【利用会員】と、子育ての援助を行いたい方【提供会員】との、会員制の相互援助活動です。  ①通常預かり 午前6時～午後10時 保育施設などの開始時間までまたは終了時間後の預かり/保育施設までの送迎/その他子育て援助に必要な活動 ②病児・病後児預かり 午前8時～午後6時30分 児童が病気または回復期にあり、保育施設などで預かることができないときの預かり/病児・病後児保育施設への送迎と送迎後の預かり	①通常預かり 800～900円 (時間帯などによる) ②病児・病後児預かり 1時間1,000円	新宿区ファミリー・サポート・センター TEL 5273-3545 FAX 5273-3082

④ 車椅子・地域行所用機材を無料で貸し出します				
事業名	対象	内容	費用	問合せ
車椅子の貸出	【対象1】区内在住で、病気やケガなどにより一時的に歩行困難な方 ※公的サービスが利用可能な方は原則対象外  【対象2】観光などで区内に短期滞在する、病気やケガなどにより一時的に歩行困難な方	《貸出期間》 【対象1】短期（2週間以内）または長期（4か月以内） 【対象2】短期（2週間以内） 《貸出場所》 高田馬場事務所、東分室及び各ボランティアコーナー（6か所）。【対象1】は短期（2週間以内）に限り、各特別出張所でも貸し出し可。  ※【対象2】の方には、新宿社協の会員（P.7参照）に入会いただきます。詳しくはお問合せください。		地域活動支援課 高田馬場事務所 TEL 5273-9191 東分室 TEL 3359-0051 ◎各ボランティアコーナーの問合せ先は本誌裏面をご覧ください。
地域行所用機材の貸出	区内に所在し、区内を活動拠点とした団体など	ボランティアや地域活動、福祉の推進を目的とした行事などへ機材を貸し出します。  《貸出機材》体験用車椅子（自走式・スポーツ競技用）、高齢者疑似体験セット（大人用・キッズ用）、カセットボンベ式発電機、輪投げセット、テント、ゲールゲーム、鉄板焼機、綿菓子機、もちつきセット、ポッチャ 《貸出期間》原則1週間以内		地域活動支援課 TEL 5273-9191 FAX 5273-3082

### 3 災害への備え

事業名	内容	問合せ
災害ボランティアセンターの運営支援等	・発災時に新宿区が立ち上げる災害ボランティアセンターを運営します。 ・地域防災力の向上に資する講座の企画や関係機関などとの連絡会議を行います。	地域活動支援課 TEL 5273-9191 FAX 5273-3082





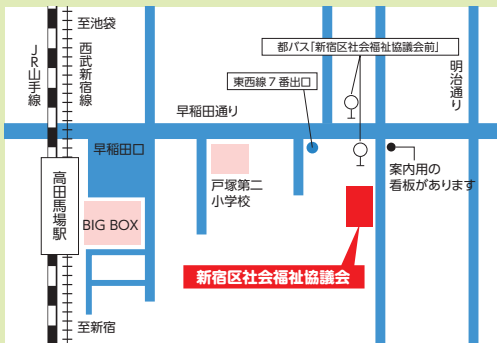
〒169-0075 新宿区高田馬場 1-17-20

Tel.03-5273-2941 Fax.03-5273-3082

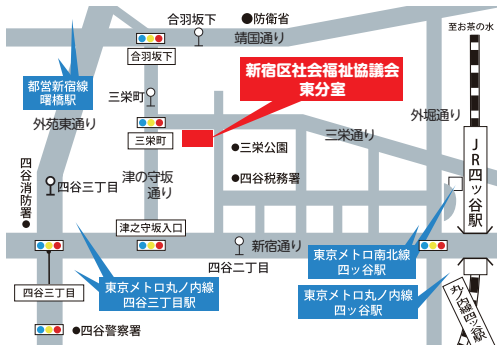
URL: <https://www.shinjuku-shakyo.jp>

E-mail: [houjin@shinjuku-shakyo.jp](mailto:houjin@shinjuku-shakyo.jp)

月～金曜日 午前8時30分～午後5時



- JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅 早稲田口 徒歩7分
- 東京メトロ東西線 高田馬場駅 7番出口 徒歩3分
- 都バス 上69系統・飯64系統「新宿区社会福祉協議会前」 徒歩1分



### 新宿区社会福祉協議会 東分室

〒160-0008 新宿区四谷三栄町10-16

Tel.03-3359-0051 Fax.03-3359-0012

月～金曜日 午前8時30分～午後5時

- 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅 4番出口 徒歩5分
- 都営地下鉄新宿線 曙橋駅 A4出口 徒歩10分
- 東京メトロ南北線・JR中央本線 四ツ谷駅 2番出口 徒歩10分
- 都バス 宿75系統「四谷二丁目」「三栄町」 徒歩2分  
品97系統・早81系統「四谷三丁目」 徒歩5分  
高71系統「合羽坂下」 徒歩8分

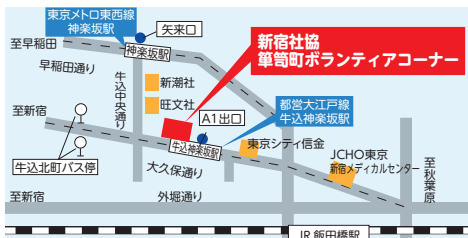
あなたの近くの

つながる



スポット

## 新宿社協 ボランティアコーナー



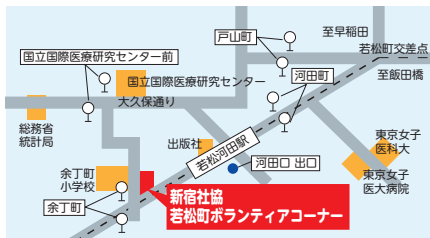
### 新宿社協 単筒町ボランティアコーナー

新宿区単筒町15 単筒町特別出張所内

Tel & Fax.03-3260-9001

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- 都営大江戸線 牛込神楽坂駅 A1出口 徒歩0分
- 東京メトロ東西線 神楽坂駅 2番出口 徒歩10分
- 都バス 「牛込北町」 徒歩1分



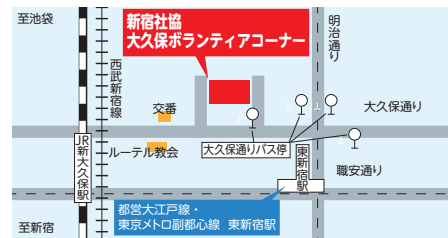
### 新宿社協 若松町ボランティアコーナー

新宿区若松町12-6 若松町特別出張所内

Tel & Fax.03-5273-3548

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- 都営大江戸線 若松河田駅 徒歩2分
- 都バス 「余丁町」 徒歩1分  
「河田町」 徒歩3分



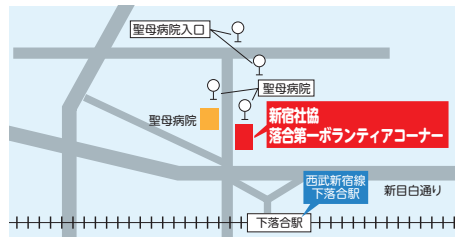
### 新宿社協 大久保ボランティアコーナー

新宿区大久保2-12-7 大久保特別出張所内

Tel & Fax.03-3209-8851

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- JR山手線 新大久保駅 徒歩8分
- 都営大江戸線・東京メトロ副都心線 東新宿駅 徒歩8分
- 都バス 「大久保通り」 徒歩1分



### 新宿社協 落合第一ボランティアコーナー

新宿区下落合4-6-7 落合第一特別出張所内

Tel & Fax.03-5996-9363

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- 西武新宿線 下落合駅 徒歩5分
- 関東バス 「聖母病院」 徒歩1分
- 都バス 「聖母病院入口」 徒歩6分



### 新宿社協 落合第二ボランティアコーナー

新宿区下落合4-17-13 落合第二特別出張所内

Tel & Fax.03-3952-1080

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- 西武新宿線・都営大江戸線 中井駅 徒歩15分
- 都営大江戸線 落合南長崎駅 徒歩5分
- 都バス・関東バス 「落合南長崎駅前」 徒歩5分



### 新宿社協 柏木ボランティアコーナー

新宿区北新宿2-3-7 柏木特別出張所内

Tel & Fax.03-3363-3723

月～金曜日 午前10時～午後5時 (正午～午後1時を除く)

- 東京メトロ丸の内線 西新宿駅 徒歩10分
- JR総武線 大久保駅 徒歩13分
- 関東バス 「北新宿」 徒歩10分

\\ ホームページ、SNS からさまざまな情報を発信しています //



HP



Facebook



Twitter



LINE



YouTube

